

三菱重工業、伊藤忠商事	マカオ政府	マカオ	次世代型路面電車の受注	480億円	全自動無人運転のゴムタイヤ式車両110両のほか、供電設備、津新システム、軌道工事、研修設備、料金機械など。オプションで増車90両(2回分)、10年分のメンテナンスを含む。15年2月完成予定。(日刊工11.3.4)
ハウステック	科逸グループ	江蘇省	住設機器の部材供給・販売・開発の業務提携		科逸の新工場にハウステック専用の生産ラインを設け、中国市場向けの新商品を共同開発する。合弁や相互出資も検討。国内住宅着工数がリーマンショック後大幅に落ち込むなか生活水準の向上で日本メーカー製品の人気が高い中国の需要を取り込む。(日経産11.3.7)
三菱地所設計	現代設計集団華東建築設計研究院	四川省 成都市	都市設計コンサルティング業務の共同受注		同市金融センターの開発に向け、次世代型路面電車・地域冷房システムを取り入れた環境配慮型都市設計で評価されて受注。上海の駐在員事務所を11年度内に法人化して受注活動を強化する。(日刊工11.3.8)
パルタック	上海長發豊源日化用品	上海市	化粧・日用品・健康食品の販売業務提携		パルタックが日本製品を中国に輸出するほか営業機能やノウハウの提供を、長發豊源が現地で小売販売するほか市場情報の提供や人材交流を行う。3年後に海外売上高を200億円規模に引き上げる。(日刊工11.3.10)
川崎重工業、仏・アルストム、台湾・CTCI	台北市高速運輸部	台中市	都市交通システム(車両36両など)の共同受注	295億円	信号、受変電、通信、自動改札などを含む車両基地設備を17年10月までに完工。川重は企業連合のリーダーとしてプロジェクト管理とシステムインテグレーション、車両製造、車両基地設備を担当する。(日刊工11.3.10)
IHI	台湾・中国鋼鉄(CSC)	高雄市	線材コイル用自動倉庫の受注	数十億円	保管能力1万5,000パレットで過去最大級規模。コイル2個を同時に扱えるクレーン9台、搬送台車数十台を備え、搬出入能力1時間当たり200パレット。13年半ばにCSC本社工場敷地内で稼働させる。(日刊工11.3.10)
アルフレッサホールディングス、伊藤忠商事(両社合弁会社:日美健薬品)	遼寧成大(傘下薬局チェーン店本社:成大方円医薬連鎖投資)	遼寧省	ヘルスケア事業の包括的業務提携		成大方円に日美健薬品が日本製品を中心とした商品供給を強化して事業を拡大、競争力向上を図る一方、流通・卸では薬局事業の物流の効率・高度化に協力して成大方円の同事業をベースに社会インフラとしての「医薬品中間流通」体制を構築する。(日刊工11.3.11)
宇部興産	黔希煤化工投資(華南煤業化工集団の子会社)	貴州省	石炭由来樹脂原料生産技術の供与	約10億円(ライセンス収入)	石油ではなく石炭からポリエステル樹脂原料を生産する世界初の独自技術。世界最大の石炭生産量を誇る中国で同技術の引合いは大きいとみて、今後2~3年で計50億円前後の収益源をめざす。(日経産11.3.16)
木下製作所	台湾・貴宏精機	台湾 台中県 烏日郷	特殊アーク炉の受注		直接受注は初めて。貴宏との関係を強化して船舶や建機のシーブ(滑車)などの外販も検討。貴宏はベトナムの鋳物工場に設置するが、その鋳造部品を日系メーカーに販売することも検討する。(日刊工11.3.17)
南ア・サソール	神華集団	寧夏回族自治区	石炭化学事業の協力	580億元	神華は内モンゴルなどに石炭液化プラントを保有するが、南ア(3年内稼働)やロシア(協議中)の企業との建設協力で年産能力を現在の100万トンから20年に1,100万トンまで高める。一方、07年の合意後に凍結していた米社との石炭化学コンビナート建設計画も経済成長に伴う原油不足に備え早期着工をめざす。(日経産11.3.22)
ロシア電力会社		国境付近のロシア領			
米・ダウ・ケミカル		陝西省		330億元	
TIS(ITホールディングス傘下企業)	曙光	天津市	クラウドコンピューティング事業での業務提携		11年5月にTISのデータセンターに曙光の機器を設置してサービスを開始。処理能力が高い曙光の技術を武器に、5年間で現地の一般企業に加え金融機関や公共機関など100社への導入をめざす。(日経11.3.29)
三菱重工業	九江海天設備製造(JHT)	江西省 九江市	船用ボイラの技術供与		蒸発量2~55トン/時の4機種で中国内の製販・サービスを行うライセンスを付与。船用ボイラの市場浸透を図る三菱重と技術獲得を狙うJHTの思惑が一致。JHTは12年に大型の初号機を完成・納入する。(日刊工11.3.29)
三菱重工プラスチックテクノロジー	震雄集団	香港	大型油圧式射出成形機分野の業務提携		三菱プラが新興国向け機種を開発し、震雄からOEM供給を受ける。11年9月には初号機を市場投入、3年間で120台、50億円の売上高を見込む。ライセンス供与で震雄も自社ブランドで製造・販売する。(日刊工11.3.30)

3月の中国関連事業拡大企業

現地企業	所在地	設立	日本・外国企業	中国企業・機関	事業項目	事業費	概要
常州田上機械	江蘇省 常州市	11年春(生産)	コマツ産機、小松(中国)投資		自社開発プラズマ切断装置の現地生産・拡販		高速で初期投資も小さいので、増産体制に入る現地自動車・船舶・橋梁メーカーにコマツブランドで拡販。中小型プレス機の生産も中国で始め、建機に続いて市場開拓を本格化。(日経産11.3.1)

			前川製作所		化学プラント向け産業用圧縮機の生産能力増強	5億円	中国需要の伸びに対応するため、国内工場に新設備を導入して大型圧縮機の生産能力を倍増。納期も、受注生産の一部を作り置き、現在の6カ月から3カ月に半減。11年の現地受注量で約340台と前年比の倍増をめざす。(日刊工11.3.2)
上海補助工業	上海市	11年9月まで(増設)	補助工業		衛生用品向け包装袋の生産拡大	4億円	紙おむつや生理用品など衛生用品市場が日本と同規模に成長してきた中国で、メーカーが生産を拡大しているため、現法工場内のラインを増設して包装袋の年産能力を7,000トンに高め、安定供給体制を整える。(日経産11.3.2)
武漢工場ほか	湖北省孝感市ほか	11年4月(稼働)、13年度まで(増産)	南部化成		自動車用樹脂部品の増産	5億～10億円(年間総投資額)	武漢工場に射出成形機4台を導入。日系メーカーのほか、同社として初めて現地資本の東風自動車に納入する。広東省の東莞・広州工場でも1ラインずつ増設。13年中国売上高を前年比17.3%増の163億円と見込む。(日経産11.3.2)
新工場	江蘇省無錫市	11年4月(稼働)、11年12月まで(増強)	太陽社電気		デジタル機器向け小型抵抗器の増産	1.7億円	無錫工場立上げ時の月産能力1.5億個体制から12月までに3億個と段階的に引き上げる。初期投資を抑えるため土地・建物は借り受け、主に生産設備に投資。スマートフォンなどの需要を取り込み売上高の拡大を狙う。(日経産11.3.2)
既存工場	天津市		バンドー化学		自動車用駆動ベルトの増産		生産設備を増強し、生産能力を従来比3割増の350万本に引き上げた。主に日系自動車大手の工場を供給。需要増の新興国向けに経営資源を重点投下して、12年度アジアの売上高を09年度比5割増の250億円に高める。(日経産11.3.2)
既存工場	広州市	11年夏(完成)	ユーシン精機		プラスチック成型品の射出成型機取出しロボットの増床	1～2億円	売上高の構成比が24.1%と高まっている中国で従来、人手によっていた取出し作業をロボットに置き換える動きが広がっていることに対応し、既存組立工場の約2倍の広さの新棟を建てる。現在月150台の生産能力を3倍に増強。(日経産11.3.4)
山推楚天工程机械	武漢市	11年4月(稼働)	日工	山推工程机械	コンクリートポンプ車などの製造工場新設		他にコンクリート関連のプラントやミキサー車など現地での供給体制を整え、公共投資の減少で国内市場が縮小するなか中国で拡大する建設車両の需要を取り込む。11年度に約100億円の売上高をめざす。既存工場は閉鎖。(日経産11.3.4)
	江蘇省江都市	11年4月(稼働)	日清紡ホールディングス		太陽光パネル製造装置(ラミネーター)の工場新設	10億円	従来は国内だけで生産していたが、中国での太陽電池生産の急増に対応する。汎用タイプを月30台生産、国内工場と合わせた生産能力は3倍程度の見込み。台湾の同業メーカーに出資、韓国でも販社を設立し、アジアでの事業拡大で13年度に150億円の売上高をめざす。(日経11.3.5)
既存工場	広州市	12年中(稼働)	アルファ		自動車用部品の金型内製化と部品増産	数億円	設備を導入・移管して従来現地日系メーカーから調達していた部品製造用金型を内製化。部品製造原価を現行比3割減をめざす。一方、工場棟を増築し、12年の生産能力を同約2割高める。国内工場への逆輸入も検討。(日刊工11.3.8)
太派機械(天津)	天津市	11年6月	TAIYO(100%)		自動車メーカー向け組立・検査装置の製販子会社設立	2.1億円(うち資本金1.5億円)	日本・韓国企業の中国工場からの引合い増加に加え、国内からの輸出に比べ為替変動リスクの抑制やコスト低減を見込み、中国向けを新会社に切り替える。営業も強化できるとみて、将来的に中国メーカーへの販路拡大も狙う。(日経産11.3.9)
関西金属網科技・昆山	昆山市	11年6月(完成)	関西金網	台湾企業	コンベヤーベルトの製造工場拡張	5,000万円	日本・台湾系進出企業や中国企業向けの需要増に対応、平屋建て工場を2階建てに拡張する。現在の年間売上高約4億円から、今回の増強により3年後には10億円を見込む。(日刊工11.3.9)
新工場と新子会社	江蘇省常熟市	12年春(稼働)	三菱電機		パワーステアリング用部品・カーオーディオ工場新設	3,000万ドル(約25億円)	中国で2カ所目の自動車部品拠点として、コスト力のある製品を供給して日系のほか地場メーカーの採用も狙う。15年度に中国売上高を現在の数倍、500億円に伸ばす。併せて、独資で新事業会社も11年4月に設立する。(日刊工11.3.10)
新潟機械科技東莞分公司	広東省東莞市		ニイガタマシンテクノ		現法の支社設立による射出成型機の拡販		上海の現法・新潟機械科技の営業拠点として11年3月に業務開始。営業サービス体制の強化で華南市場を開拓、11年12月期の現地売上高で従来比2倍の10億円をめざす。(日経産11.3.11)

既存現地法人	上海市	3年後	セイコーウォッチ		取扱店の倍増と共通イメージ広告による拡販		取扱店を1,000店まで倍増し、4月から台湾の人気俳優を東アジア共通の広告に起用。ブランドイメージを高め、新規取引店や日本等への旅行者に同社製品をアピールする。(日経産11.3.16)
	江蘇省宿遷市	11年内(稼働)	ニチコン		工場新設によるコンデンサーの増産	30億円	中国での4カ所目として大規模工場を新設し、パソコン用の生産量を5割増やすほか、家電・産業向けも増産する。新興国における機器の高機能化や省電力化の流れにともなうコンデンサーの需要増に対応する。海外生産比率も5割近くに引き上げる。(日経産11.3.17)
蘇州強力五金	江蘇省太倉市	11年内(稼働)	日本パワーファスニング		自動車部品による工場新設による生産能力増強	1.5億円	現地日系自動車部品メーカーの発注増加に対応し、ヘッドライトの角度調整装置やステアリングに組み込む金属製品の生産能力を現在比で1~2割引き上げ、11年度の同事業関連売上高を10年度比7割増の5億円に増やす。(日経産11.3.22)
既存工場	江蘇省昆山市	12月まで(増強)	遠藤照明		LED照明器具の生産能力増強	2億円	部材製造から手がけるが、器具の組立工程の一部を自動化、作業員も2割増の600人にして、月産能力を20万台に倍増する。日本のほかアジアや欧州にも出荷して、11年度売上高を10年度見込比2倍の160億円に増やす。(日経産11.3.22)
天津国成橡膠工業	天津市	12年半ば(完成)	JSR		自動車部品向け配合ゴム素材工場の移転・増強	数億円	現地主要顧客の増産などに伴う自動車の燃料ホースやベルト製品の需要増に対応、台湾成型前材料メーカーとの合弁工場である天津国成橡膠工業を近隣に移転し、生産能力を現在より3割増の年2万トンに増強する。(日刊工11.3.23)
既存工場	広東省東莞市	11年夏(増産)	砂永樹脂製作所		自動車用樹脂製ダクトのブロー成形部品の生産能力増強		ブロー成形機を増設して月産能力を5割増しの6万台に引き上げる。主力の射出成形事業では日系企業などに加え現地企業の競争力が高まり競争が激化しているため、競合先が少ないとみられるブロー成形を強化する。(日刊工11.3.24)
既存・新設第1~第4工場	上海市浙江省江蘇省ほか	2年以内	JFEコンテナ		化学品向け200リットル鋼製ドラム缶の増産	10億円(第4工場、他は未定など)	第2(浙江)は生産ラインを増設、第3(江蘇)は建設中で10月稼働、第4は場所を選定中で12年にも完成。化学品向けの需要増で、最大月産能力を現状比2.8倍の70万缶弱、中国売上高を今期見通し2倍強の100億円と見込む。(日経産11.3.24)
キヤノン中国			キヤノン		放送用テレビカメラ向けレンズの拡販		中国政府の後押しでテレビカメラのハイビジョン化が今後も進むとみて、日本本社から香港の販売会社を経由して中国で販売していたのを当面70品種を揃え現法で直販する。(日経産11.3.25)

3月の中国関連事業変更・再編企業

現地企業	所在地	設立	日本・外国企業	中国企業・機関	事業項目	事業費	概要
SGTC香港(SGTCの子会社)	香港	11年4月(業務)	ソニー(子会社:英・ソニー・グローバル・トレジャリー・サービシズ(SGTC))		為替管理業務の一元化		人民元相場の弾力化や中国事業の売上急増により為替変動リスクが増大していたところ、規制緩和で元建て貿易決済がしやすくなったのを契機に、従来中国本土の現法が担当してきた業務を香港の金融孫会社に移管。専門ノウハウを生かして為替リスクの管理を徹底する。(日経11.3.1)
愛信精機中国投資(新社名)	天津市	11年6月(増資)	アイシン精機		自動車関連部品の販売子会社の統括会社化	53億円(増資)	自動車市場の拡大が見込まれる中国で、意思決定を迅速化して現地のニーズを反映した製品開発を強化、グループ内の営業や技術面もサポートする。増資後は資本金53億5,000万円で社名も変更、現地採用者を増員。(日刊工11.3.1)
工業用ミシン工場	上海市	11年3月まで(移管)	JUKI		実装機への電子部品供給機生産の現地移管		供給機のうち、移管済みの電動タイプに続き、10年11月に一部生産を始めた機械駆動タイプの主力機種を移管。人件費や板金部品の調達費用を抑え、製造コストを3割抑える。(日経産11.3.3)
常熟菱重機械	江蘇省	11年3月(業務開始)	三菱重工業		工作機械用部材の現地調達化	3億円	歯車機械の新設工場に地場部品メーカーの情報収集や品質・納期などの検証・選定機能を付与。15年度にも中国工場での現地調達率を6割程度にして価格競争力を強化する。国内生産でも中国部材の採用を検討する。(日刊工11.3.4)

3月の中国支店・事務所開設

日本・外国企業	本社所在地	支店・事務所名	現地所在地	概要
三洋電機	大阪府 守口市	「エネルーブ」 専売店	上海市	中国最大のIT商業施設「バイナウ」内に3月出店。ウェブサイトの販促キャンペーンも展開し、ニッケル水素電池の普及が始まった中国で認知度を高める。11年度の現地販売量を10年度(見込み)比4割増の100万本に増やす。中国の専売店は3カ所目。(日経産11.3.1)
三菱地所	東京都 千代田区	駐在員事務所	上海市	中国での事業拡大に先立ち、現地の情報収集に当たるとともに、政府や企業との交渉を担う拠点として5月に開設。すでに瀋陽で商業施設の開発に着手しているが、同事務所を足掛かりに新規プロジェクトを探る。同社が拠点を設けるのは初めて。(日経産11.3.4)
ウェルシイ	東京都 千代田区	事務所	上海市	水道インフラ未整備地域などでの需要を見込み、11年5月に同社初の海外拠点を設置、新設の海外事業部と連携しながら現地営業を展開。地下水や工場用水の膜処理浄化システムを売り込む。海外事業で12年5月期に5億円の売上高をめざす。(日刊工11.3.9)
ディスコ	東京都 大田区	事務所(3カ所)	北京市、 深圳市、 西安市	精密加工装置の販売・保守サポート拠点(西安では保守のみ)として、上海や天津などの既存拠点と合わせて中国8カ所目。中国では半導体メーカーの設備投資増などを受けてウエハーの切断装置(ダイサー)の需要が伸び、顧客数も増えている。(日刊工11.3.11)
ナルミヤ・インターナショナル	東京都 港区	アナスイ・ミニ 1号店	上海市 (百貨店「上海梅龍鎮伊勢丹」内)	11年3月の1号店を皮切りに初年度に3店、3年で最大15店体制をめざす。08年に「メゾピアノ」ブランドで進出したが、当面はニューヨーク発祥で世界的にも知名度の高い「アナスイ」のブランド力を活用して中国富裕層の母親の購買需要を開拓する。(日刊工11.3.15)
ハイレックスコーポレーション	兵庫県 宝塚市	営業所	上海市	現地の日系・欧州系自動車メーカー向け営業は現地生産子会社7社で担ってきたが、第一、東風、上海汽車など存在感が高まる中国資本の自動車メーカーからの受注をめざし、63%出資の重慶海徳世拉索系統集団の営業所として初めて開設。(日刊工11.3.23)
タビオ	大阪市 浪速区	直営店	香港	高品質でファッション性の高い靴下の需要が若者を中心に旺盛で、現地製の安価な商品と競争できると判断し、11年内に出店。上海など他地域にも展開し、数年内に10億円以上の売上をめざす。国内市場低迷のなか、中国事業を収入源に育てる。(日経産11.3.31)
サマンサタバサジャパンリミテッド	東京都 港区	サマンサタバサ 上海伊勢丹店、 同プチチョイス 上海伊勢丹店	上海市 (百貨店「上海梅龍鎮伊勢丹」内)	11年4月に開店。サマンサタバサの中国本土店舗数は昨年12月出店のサマンサベガ上海OP店と合わせて3店舗目となるが、メインブランドが中国本土に出展するのは初めて。開店日は、東日本大震災のチャリティー商品販売やオークションを計画。(日刊工11.3.31)

3月の中国企業・機関の海外進出

中国企業・機関	進出地	日本・外国企業	事業項目	概要
北京汽車工業集団	スウェーデン(工場所在地)	独・ヴァイグル・グループ	自動車部品メーカーからの工場資産の買収	ヴァイグルが08年、サーブを傘下に置くGE系部品拠点として買収した変速機工場の製造設備や関連技術を3,100万ユーロ(約35億円)で買収。11年中に市場投入する自主ブランド車の品質向上に役立てる。15年には10年比3倍の400万台に拡販する。(日経産11.3.3)
中国航空工業集団(AVIC)	米国	米・シーラス・インダストリーズ	個人向け小型飛行機大手企業の買収	AVIC傘下の中航通用飛機が全株を取得することでシーラスを所有する投資銀行などと合意。小型飛行機の技術や販路に加え、海外事業の拡大を狙う。中国企業による米航空産業のメーカー買収は初めてだが、米政府の認可が下りるかは不透明。(日経11.3.3)
中国重型汽車集団(山東省)	ミャンマー ヤンゴン	ミャンマー第2工業省	大型トラックの共同生産	国営工場で11年内にも10～15トン級車両の生産を始める。「民政移管」で加速する経済開発に中国政府も2億ドルの借款を供与するが、インド・タタ自動車との共同生産もあり、中印競争が鮮明化。(日刊工11.3.15)
中国電力投資集団	ミャンマー	2,000万kWダムの建設着手(300億ドル)		今後15年間に4兆円を投じ、計3,200万kWの発電所を整備。中国向けに電力を購入するほか、東南アジア進出中国企業をインフラ面から支援する。ミャンマーやラオスの発電所建設にはタイ企業が参加、タイへの電力輸出や発電事業での利益確保を図る。(日経11.3.30)
中国南方電網		710万kW水力発電所の建設(90億ドル)		
中国の企業	ラオス	10万kW水力発電所を建設中(2億ドル)		
中国電機集団	カンボジア	270万kWダムの建設(60億ドル)		
中国華電集団	ア	33万kW水力発電所の建設(6億ドル)		
中国海洋石油総公司(CNOOC)	ウガンダ	英・タロー・オイル、 仏・トタル	石油権益の共同買収	買収総額29億ドル(約2,400億円)、6月の手続完了をめざす。CNOOCの香港上場子会社とトタルがそれぞれタローの権益から3分の1を獲得。中国の需要を賄うためには積極的取得が必要と判断。(日経11.3.31)